



りゅうおう

議会だより

No.162
2013.2.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



2013年ドラゴン元旦マラソン

平成24年第4回定例会・第2回臨時会

- ・平成24年度補正予算・第2回臨時会…………… 2～3
- ・各委員会活動…………… 4～5
- ・一般質問…………… 6～10

いきいき人生 堀井 仙太郎さん…………… 10

12月定例会 一般会計補正予算・請願等

平成24年第4回定例会は、12月6日より25日の20日間開催されました。

提案された議案は、条例改正4件、規約変更関連5件、平成24年度一般・特別会計補正予算5件、平成24年度水道事業会計補正予算1件、専決処分1件、請願1件、人事案件3件、および議員提出の条例・規則改正2件で、全議案、原案通り「可決・採択・同意」しました。

一般会計補正予算(第5号)(付託案件)

一般会計の補正予算は歳入歳出それぞれ3億5958万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ54億9126万1千円に改めるもので、主なものは表の通りです。



更新された給食センター調理機器

平成24年度 一般会計補正予算の概要

歳入補正予算の主なものは (単位：千円)	歳出補正予算の主なものは (単位：千円)
地方交付税 112,472	自立支援給付費 6,000
障害者自立支援給付費 負担金(国庫および県費) 4,500	介護保険特別会計繰出金 3,187
河川愛護活動事業補助金 2,975	町道単独道路改良・舗装他工事 3,000
前年度繰越金 3,184	給食センター調理機器 ▲11,813
地方道路等整備事業債 8,900	償還元金 335,110
臨時財政対策債 226,797	償還利子 3,823



西川池の東屋

主な意見として

○ 西川池の東屋のように、老朽化が進む施設や設備が今後も多く出てくる。必要性を考慮し、廃止も含めて取捨選択をするとともに、今後の活用と維持管理体制を明確化すること。

○ 給食センター調理機器の多額な減額補正は予算計上するまでの過程でのミスで、最近このようなことが目立つ。早急に庁内で手順書などを作成し再発防止に努められたい。
(全員賛成で可決)

特別会計補正予算

○ 介護保険特別会計補正予算(第3号)
(付託案件)

既決予算に歳入歳出それぞれ2411万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億9301万8千円と改めるものです。

主な意見として

○ 認定調査員については、現在、嘱託職員で対応しているが、本来、認定調査は介護保険制度の根幹を担うことから、正規職員を配置して対応にあたるよう検討されたい。
(全員賛成で可決)

○ 国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
(付託案件)

既決予算に歳入歳出それぞれ6755万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億5

040万6千円と改めるものです。

主な意見として

○療養給付費等が年々増加傾向にあるが、健康推進等と連携し、若年健診、特定健診の受診率を向上させるよう努力をし、住民の健康増進に努められたい。また、重複受診等のないようにレセプト点検を強化し、保健師による巡回指導を行い国保会計の円滑な運営により一層取り組まれたい。**(全員賛成で可決)**

条例改正

◎竜王町議会委員会条例の一部改正

法改正により、条例規定とされた項目として、「議員は少なくとも一の常任委員となる」「常任委員および議会運営委員は、会期の始めに議会において選任する」を追加しました。**(全員賛成で可決)**

◎竜王町議会議規則の一部改正

人事案件

人権擁護委員の候補者として適任者と認める

櫻井 喜代美 氏

竜王町公平委員会委員の選任に同意

福本 正夫 氏

竜王町固定資産評価員の選任に同意

犬井 教子 氏

北部5自治会長から提出された請願について

12月10日、議会に請願者西横関自治会長他4自治会長の連名で「近江八幡市が竹町地先に一般廃棄物処理施設を建設することに竜王町長の建設反対の意思表示を求める請願書」が提出されました。

これを受けて議会では、開会中の本会議(12月11日)に諮り、総務産業建設常任委員会に審査を付託しました。総務産業建設常任委員会では、12月18日

に会議を開き、内容を慎重に審査した結果、町長が住民の立場に立って判断し、意思表示を明確にして5自治会に表明されるよう意見集約をした後、賛成多数で請願を採択すべきものと決しました。

最終日の本会議(12月25日)で、請願の採択について採決した結果、賛成多数で採択しました。

第2回臨時会

10月16日に第2回臨時会が開催され、補正予算1件、人事案件1件が上程されました。

◎国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第1号)

特別会計(施設勘定)のうち、医科について当初予算額8860万円に、今回20万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ8880万9千円とするものです。

補正予算の主な内容は、夜間診療の試行の延長に伴う所要見込み額と現行の昼間診療分を含めた年間所要見込みにより補正を行うものです。歳出では、臨時職員賃金が10万2千円、

◎竜王町教育委員会委員の選任に同意

任期満了(平成24年10月25日)に伴い、岡谷ふさ子氏を再任することに全員賛成で同意しました。

医薬品衛生材料費10万7千円を増額し、歳入では診療報酬20万9千円の増額です。**(全員賛成で可決)**



検診車による結核検診

各委員会活動

総務産業建設常任委員会

視察研修

11月1日・2日、広島県世羅町と三次市を訪れました。

世羅町では「世羅高原6次産業ネットワークの取り組み」について研修しました。世羅郡旧3町を構成員とする協議会と会員66団体から成るネットワークを結成されました。このネットワークは、フルーツ観光農園10戸と花観光農園7戸、3つの産直市場、産直農園19戸、8つの集落法人、加工グループ13団体、レストラン3カ所、1高等学



夢高原市場の入口

校、1農協、1福祉施設と多彩なメンバーで構成されています。

平成18年4月には拠点施設として、せらワイナリー内に協同組合夢高原市場を開設されました。この市場の課題は平日、冬・夏場の運営であり、イベント開催などで相乗効果を狙っておられます。加入者間では生産者同士が相手を中心に、誹謗をしないで、安売り合戦はしないことを決めておられます。また、ネットワーク加入時には面接をし、イベントの準備、後始末や缶拾い、草刈作業などのボランティアの協力を義務付けているとのことでした。

産直市場の一つ「甲山いき

いき村」では、組合員が400人で直売所を運営され、ソバ、そば茶、そば焼酎などで実績を挙げられています。開

設当初は少量多品目販売で高齢者の出荷が多く、販売額は一人当たり100万円程度でしたが、最近では400万円程度の販売額になる人もおられます。平成13年からは広島県尾道など6〜7カ所でインショップ販売を行っており、年間販売総額4億円の半分ぐらいになっています。



夢高原市場店先の様子

三次市では「定住促進の取り組み」について研修しました。

空き家情報バンクを運営され、空き家やその利用希望者の登録を受け付け、空き家情報を提供されており、その登

録、紹介、成約の各件数や状況について説明を受けました。空き家情報を市のインターネットで照会することで、空き家所有者とその利用者の信頼を得、利用や契約に繋がっています。

空き家リフォーム事業では、市外からU・I・Jターンされた方が三次市で登録されている空き家を購入された場合、必要とされるリフォーム費用の一部を補助されています。補助率は2/3で150万円が限度となっており、小学生以下の児童を有する場合については補助率10/10で限度額は150万円です。

宅地購入奨励金と新築奨励金については、市外在住の方が市内に転入定住することを目的に、市内に土地および家を新築または購入された場合、これらにかかる固定資産税納税相当額を奨励金として5年間交付するものです。定住促進にかかる子育てサ

ポート事業は子育ての援助を希望する「おねがい会員」(市内在住の0歳から小6までの子どもを持つ保護者)が「まかせて会員」(所定の講習を受けた20歳以上の市内在住者で、自宅で子どもを預かることのできる人)に子どもを預けるといふ24時間365日対応の援助システムです。

町道松陽台安養寺線他道路計画の進捗状況について

町道松陽台安養寺線は車道が5・5m幅で普通車の対向が可能な道路です。田んぼ側は2mの路側帯を設け農耕車両の一時停車を可能としました。歩道は2・3mです。今年度は用地買収手続き、25年度は水稲収穫後直ぐに着手し、平成26年3月末に供用開始の予定です。

道の駅取付け道路は今後協議をしながら線形をつくっていく、平成26年度に着手の予定です。



サビがひどい竜王中学校体育館屋根

教育民生常任委員会

竜王中学校体育館改修

コロン

昭和56年度に竜王町民体育館として建設され、平成12年度より竜王中学校体育館として使用されています。築31年が経過し、主に雨漏れ改修、暑さ対策、省エネ対策、トイレ改修、防災対策を行い、平成25年7月ごろより約2億円をかけて改修されます。

主な意見として

防災対策として、ソーラパネルの設置を考慮されているが、電気の蓄電等だけでなく、避難者の目線に立ちできる限りの改修をされたい。

保育所整備事業について

私立認可保育所設置・運営法人募集要項に基づき、広く公募をした結果、1法人からの応募があり、2度の選考委員会を経て社会福祉法人 育新会を事業候補者として選定された経緯、また、今後のスケジュールについて、事業候補者と協議をしながら、平成26年4月に開園予定との説明を受けました。

主な質疑応答

問 1法人しか応募がなかったが、根本的に1法人だけで選定しても問題は無いのか。

答 審査基準に基づき適正に審査していただきました。

ので、問題はありません。

主な意見として

安全に登園降園できるように配慮するとともに、竜王町の保育についても事業候補者と協議されたい。

議会基本条例推進特別委員会

平成24年11月22日、議会運営委員会に対し、次の3点について実現・実行を求める文書を提出しました。

1. 一般質問で、当局の答弁は明確さに欠けることがある。答弁はまず町長がされるように求める。
 2. 一般質問は定例会の後半に行われるが、開会後の早い時期に行われるよう求める。
 3. 議員は質問原稿を提出しているが、当局の答弁は事前に配布されない。事前配布を求める。
- また、以下の3点について

今後も検討することになりました。

① 年度当初の予算が、どのような経過でどのように事業化されるのか、実態や流れが見えにくい状況であるため、予算決算の常任委員会化等について、あり方を検討する。

② 議会基本条例の各項目と議会会議規則との整合性について検討する。

③ 議会内の議論を活発にする上で自由討議は大事であり、先進地の視察や情報収集でその方法を模索していく。

地域活性化特別委員会

雪国まいたけ滋賀工場 の対応について

雪国まいたけの9月27日付けの回答書は、カット野菜工場増設計画について、

- ① 日量55000パック生産から100000パック生産に増産、包装4ライン化、完全2交代制、② 事務室、会議室、食堂の増築等も含め1億6340万円の総投資額、人員計画も29名増員し84名体制にして、本年3月末に稼動するという内容でした。

様々な意見交換の後、委員会としては農工計画の延長を認める方向でまとめました。

また、11月1日付けで雪国まいたけより出された文書についても報告を受けました。その内容は、① パッケージセンターの増設部分については、平成24年度内

に稼動する。② 農工計画の延長後の平成25年4月1日から3年以内の残地活用ができない場合は、当該地の分譲を前提とした道路整備をする。③ 当該地の固定資産税の減免措置は、平成25年度以降は、凍結されても異存はないというものです。

それに対し、竜王町は平成25年3月31日をもって終期を迎える現行農工計画の延長に向けて関係機関との協議を始める旨の回答を雪国まいたけに出されました。

主な質疑・応答

問 農工計画の延長をこの程度の内容で認めるのか。

答 農工法の縛りの中で、あくまで工業の導入という視点から農工計画の延長を認めるものであって、延長が認められない場合は、今後の工場建設が認められませんが、平成24年度内

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

7議員が13問

- ①今後の竜王町の目標人口14,000人を目指して 西村 公作議員
- ②河川、道路、橋梁等の総点検について 内山 英作議員
- ③E社の新規の許可申請と町の環境基本条例制定について 若井 敏子議員
- ④空き家対策の具体的施策について 古株 克彦議員
- ⑤大震災時の飲料水等について 竹山 兵司議員
- ⑥(仮称)竜王岡屋工業団地開発に伴う
地元地区の課題について 松浦 博議員
- ⑦財政健全化の取り組みは万全なのか 山田 義明議員

答 この地区は「総合計画」の都市計画決定を行い、現在の商業施設を誘致し、あわせて公民館のコンバージョンを実施しました。タウンセンターエリアは現時点では民間診療所の開設もあり、町民のコミュニティの拠点施設となっています。道路整備は県道小口川守線の歩道拡幅、町道東西線からの町道西通り線の2車線化と歩道設置と一

問 現在の竜王町のまちづくりが「第五次総合計画」に沿って行われているとは思えない。役場周辺のフレンドタウンを核施設として、これにつながる住宅建設や道路整備はできないか。



西村 公作議員

今後の竜王町の目標人口14,000人を目指して住宅建設の確保に向け手法の調査・研究・検討を行います

定の整備を行ってききました。今後の住宅建設については、この地区は住宅環境が向上していると考えており、住宅用地として構想付けています。しかし農業振興地域農用地でもあるので、地元の理解をいただきながら目的達成に向けて、県等関係機関と協議をして進めていきたいと考えています。

次に既存集落周辺での住宅建設は、農業後継者の農家住宅、調整区域内で10年以上居住している人の世帯の分家、市街化区域周辺の集落において県が指定した区域、そして地区計画制度活用などにより住宅建設が可能です。



タウンセンターエリア

一般質問



内山 英作議員

問

近年の台風・梅雨前線による大雨、地震、そして施設そのものの経年などにより町内の河川、道路、橋梁等は様々な形で損傷・劣化等が進んでいる。日本でも今、インフラの老朽化のピークが迫っている。

竜王町における各施設の最近の点検および補修・改修状況と今後の施設総点検の計画、現在の補修・改修の必要な緊急度の高い施設について伺う。

答

町域を流れる一級河川は、15ありです。これらの河川は県が年間を通して定期的にパトロールされ、施設管理をしておられます。町は、河川

河川、道路、橋梁等の

総点検について

施設の点検・長寿命化事業を実施します

護岸の崩壊や堤体からの漏水等については、最寄り自治会からのパトロールなどにより通報を受け、現地確認後、県へ通報し現地立会いと併せて修繕等の要望をしています。

今後は、日野川、祖父川等の堤防強化などのトランク河川対策を実施していただく予定です。

道路については、県・町

共に定期的な道路パトロール等により路面の舗装クラックやすり減り状況を勘案し、補修計画を立てながら保全に務めています。

橋梁の管理については、平成21年度に81か所の橋梁

点検を実施、そして、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、来年度から事業の実施と定期的な点検も行っていく予定です。



弓削地先の日野川左岸
(護岸が崩落している様子)

問

E社が、産業廃棄物の積み替え・保管を含む収集運搬業へ変更申請することについて説明会を開いているが、手続きの流れと説明会の成立要件を問う。

町として環境基本条例を制定する考えはないか。

答

手続きは、「知事との事前協議の後、事業計画とアクセスについて住民説明会を開き議事録を添付して県に審査願いを出す。県は現地調査などを行い、適当と認めたら、E社に通知する。E社はアクセスを実施。その結果を県に出し、二回目の住民説明会を開く。その議事録を県に出すと県は関係市町の意見を聞き、E社に必要な指



若井 敏子議員

E社の新規の許可申請と

町の環境基本条例制定について

条例制定は検討します

導をし、内容が適当ならその旨伝える。

E社は許可申請を県に出す。申請が認められるとE社は産業廃棄物を取り扱うことができるようになる。」という流れです。説明会は要綱によるもので法の位置づけはなく、成立要件もありません。

環境基本条例については、条例と計画を検討する委員会を平成13年度に設置

しましたが、会議の開催は一度となっております。今後検討します。

この区域は竜王町の西の玄関口で、市街化区域です。E社は当初、産業廃棄物を扱わないとしていましたが、変更するとなると町として当初と違うという指摘を行い、対応を求めなければならぬと考えています。



E 社関西支店 (HP より)



古株 克彦議員

空き家対策の

具体的施策について

有効活用についての対策・制度を模索します

問

竜王町では、昨年、既存27集落の区長さんの聞き取り調査による空き家実態調査を実施されました。その時の空き家確認数は約70戸、自治会の見解として環境・防犯上の課題は残るが所有者に任せるべきという意見が大半であったと報告を受けました。第五次竜王町総合計画の目標人口1万4千人に到達するステップの中で、既存27集落に空き家各2戸の有効利用を掲げていますが具体的施策について質問します。

答

本年度の取り組みについては、空き家の有効活用だけでなく、若者が定住を前提とした生活拠点を求められるよ

う他市町の事例等を情報収集し、本町において有効な制度の研究を行っているところですが、現在のところは、空き家の有効活用にと絞っての、具体的な行動までには至っていないのが現状です。なおこの間、数件ですが、住宅希望や福祉施設に関しての問い合わせがあり、実態調査も参考にしながら関係者の方々へ紹介しています。

さて、農村集落において空き家に至るまでには、その物件ごとに、それぞれに背景や課題がございます。また空き家そのものも含めて、人口減少、高齢化の進んでいく中で、持ち主個々の課題にとどまらず、農村集落全体において防犯上や地域コミュニティの低下の観点からも大きな課題と捉え、集落自体も認識・対応を促すことが重要と考えます。



空き家を有効活用されている福祉施設



竹山 兵司議員

大震災時の飲料水等について

井戸の状態・状況をみて検討します

問

大震災時の飲料水等に、井戸水や湧き水の利用について

答

阪神淡路大震災や東日本大震災などの大地震などによる災害時には、給配水管や水道施設などが損壊し、飲用水や生活用水が確保できず、被災者は大変不便な生活を余儀なくされました。

震災直後は、緊急を要する消火用水、医療用水、生命維持のための最低限の飲用水が必要ですが、これらはペットボトルなどの飲用水の備蓄や災害用貯水槽、応急給水体制などにより比較的速やかに対応、確保されるのが想定されます。その後、被災生活がはじまり、復旧に向けての時期は、トイレ、清掃、洗濯、

風呂、炊事など生活用水としての水の需要が圧倒的に増大します。

既存の民間の井戸を災害時に活用することが全国的に検討されるようになってきており、滋賀県でも検討がはじまっています。ただ、飲用水として活用するには

公衆衛生などの観点から課題があるため、主に生活用水としての活用が望ましいと考えます。しかし、実際の活用にあたっては、井戸の状態・状況や所有者との関係など課題等が想定されるので検討を要します。



町内の湧き水

一般質問



松浦 博議員

問

工業団地開発に伴って、社会インフラや防災など直接地元住民に影響する課題について町当局の考え方を伺う。

答

① 工業団地の実施設計の中で想定される周辺交通への影響等の対策について、予測調査・分析を行い、あわせて交通関係者との協議、具体的対策について検討を始めています。交通に支障や負荷のかかる箇所について影響が発生しないようにすることが基本であり、具体的なハード対策として、道路拡幅や交差点の改良などが考えられます。

(仮称)竜王岡屋工業団地開発に伴う地元地区の課題について地元と県・開発公社との調整を図っていきます

祖父川左岸堤防を利用した道路整備については、交通量増大に伴い日常生活に影響が及ばないよう具体的な対策を協議検討していきます。

② 祖父川・中ノ川の水害対策の矢板工事・浚渫工事については、県東近江土木事務所に早期に完了できるように要望しています。

③ 残地森林(保安林)の有効活用には、総合運動公園を含めた森林保全、遊歩道などの活用や地元要望の墓地用地の捻出について調査研究を進めます。



工業団地紹介リーフレットより

④ 環境保全と公害については、進出企業と公害防止協定を結び適切な指導を行います。

⑤ 地域経済や文化の発展に寄与する優良企業の誘致活動を、県とともに加速させます。

⑥ 地元と県・開発公社との話し合いおよび工事設計完了までに開発責任者と協議するための調整を行っています。

問

実質公債費比率が平成23年度は18・4%と、未だ地方債発行に許可を要する18%以上である。今年度以降の取り組みでの実施内容や計画は。

① 公債費負担適正化計画はどのようなものか

② 農業での所得向上による税収アップの取り組みについて

③ 町内商・工業事業所への支援等による税収増への取り組みについて伺う。

答

① 公債費負担適正化計画は、平成21年度から25年度の5年間を計画期間として作成し取り組んでいます。この結果、平成24年度決算見込み



山田 義明議員

**財政健全化の取り組みは万全なのか
財政・業務の適切な規模での実施等で健全化に努めます**

額を反映しつつ、今後の投資的な経費の見直し等に基づく町債発行額の見込み等、現時点での状況を踏まえますと、来年度は概ね18%を下回る見通しとなつたところです。

② 農業者の所得向上のため、昨年度から麦作後の大豆や契約野菜を、関係機関と協力し推進した結果、24年度は大豆が約757反、前年度比128%。契約野菜が約80反、前年度比142%と生産が拡大しました。また、生産コストの縮減を図るため、農業経営

の協業化などを推進していきます。

③ 平成22年度からはグローバル競争の中で企業力アップに繋がるための意見交換会として「竜王町経済交産会」を開催し、企業が活動しやすい環境づくりに努め、地域経済振興に繋がりたいと考えております。



契約野菜の収穫作業

こんな質問もしました

内山英作議員

問 地域包括支援センターの総合相談支援について

答 センターの相談支援実績は、平成23年度が相談数1974件に対して、支援数延べ2423件、24年度上半期は相談数943件に対して、支援数延べ1189件です。

最近の傾向として、日常生活相談や病気・事故により障害を持った方の相談、生活保護の申請に至らない経済的な問題を抱える方の相談も増加傾向です。

問 権利擁護事業について

答 町社会福祉協議会が実施する地域福祉権利擁護事業は現在20名の方が利用されています。本事業における県社会福祉協議会からの補助金は、利用者の契約件数20件

竹山兵司議員

までが専門員1名設置で120万円の人件費補助がされています。今後も町と社会福祉協議会が情報の共有を図ってまいります。

若井敏子議員

問 子宮頸がん予防ワクチン接種の補助枠拡大について

答 一定年齢の未婚の方は、国や県の動向、全国的な市町の取り組み状況を注視し調査検討を図ります。

なお、補助制度ができたときに高校2年生以上だった人に対する補助枠の拡大は、現在考えていません。

問 三次市に学んで福祉施策の充実を

答 中学校卒業までの子どもの入院費は無料にしています。今後は国や近隣市町の状況も確認し、効果的で有効な施策を検討していきます。

シャリーズ いきいき人生

山之上西山在住 堀井仙太郎さん

私は、ダイハツ工業を定年退職し、はや7年の月日が過ぎました。

毎朝5時半に起き、健康維持のために朝は1時間、夕方は30分愛犬と散歩しています。毎日歩いているといろいろな事に気付き、また人との出会いで立ち話に花が咲くこともあり、楽しく元気に過ごしています。

昼間はほぼ毎日さくらんぼ農園にて、栽培管理作業を行っています。今年で16年目を迎えますが、当時は滋賀県での栽培歴もなく、会社に勤



今年はおかげと感謝しております。今年さらにお客様のご要望にお答えするため、定年後に20アール60本を増植した新品種のさくらんぼが収穫できる予定です。ご恩報謝と健康第一で仕事ができる喜び、そして何よりも皆様方に感謝の気持ちを忘れることなく頑張っていきたいと思っております。今後とも、ご指導のほどよろしくお願いたします。

編集後記

新しい年を迎えました。新しい年を迎えました。が、地方行政においては生活基盤の整備、福祉、教育、環境、少子高齢化などの問題が山積しています。私たちが議員は、責務の重さを強く認識して、議会活動の公開等を通じて住民皆様との信頼関係のもとに、住民主体の逞しい竜王町を築くために、日々、議会活動に取り組んでまいります。今年もよろしくお願いたします。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内山 英作 |
| 副委員長 | 山田 義明 |
| 委員 | 小森 重剛 |
| | 貴多 正幸 |
| | 菱田 三男 |
| | 蔵口嘉寿男 |